



平成30年 5月11日

各 位

会 社 名 リバーエレテック株式会社
代表者名 代表取締役社長 若尾 富士男
(J A S D A Q コード : 6 6 6 6)
問合せ先 執行役員総務本部長 大柴 公基
(TEL . 0 5 5 1 - 2 2 - 1 2 1 1)

営業外費用（為替差損）の計上、個別業績の前期実績値との差異 及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成30年3月期において営業外費用（為替差損）を計上するとともに、通期個別業績につきまして前期実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、当期の業績を踏まえ、平成29年11月10日に公表いたしました平成30年3月期の配当予想を下記のとおり修正いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 営業外費用（為替差損）の計上について

平成30年3月期連結累計期間（平成29年4月1日～平成30年3月31日）において為替差損32百万円を営業外費用に計上いたしました。

これは主として期末時点で当社グループが保有する外貨建債権債務を同日の為替相場で評価したことに伴い発生したものであります。

業績に与える影響

上記営業外費用（為替差損）の計上による業績への影響等については、本日（平成30年5月11日）公表の「平成30年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）」をご参照下さい。

2. 平成30年3月期通期個別業績値と前期実績値との差異（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績（A）	百万円 4,430	百万円 △182	百万円 △289	百万円 △293	円 銭 △39.84
当期実績（B）	4,187	△184	△381	△388	△52.64
増減額（B－A）	△242	△2	△92	△94	－
増減率（％）	△5.5	－	－	－	－

差異の理由

売上高は、水晶製品事業において、スマートフォン向けの受注が伸び悩んだことにより前期実績と比べ242百万円の減収となりました。営業利益については、減収の影響等から前期実績と比べ2百万円の減益、経常利益については、為替差益が前期実績に比べ35百万円減少したこと、関係会社事業損失引当金繰入額が前期実績に比べ48百万円増加したことなどから、前期実績に比べ92百万円の減益となりました。また、当期純利益については、特別損失に固定資産除却損を計上したことなどから、前期実績に比べ94百万円の減益となりました。

3. 配当予想修正の内容

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前回予想 (平成29年11月10日発表)	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 未定	円 銭 未定
今回修正予想	—	—	—	0.00	0.00
当期実績	—	0.00	—		
前期実績 (平成29年3月期)	—	0.00	—	0.00	0.00

配当予想修正の理由

当社は、長期安定的な企業価値向上によって、株主への安定的な配当を継続的に行うことを経営の最重要課題とし、これに加え、連結業績及び配当性向等を総合的に勘案した利益還元を行うことを基本方針としております。当期の期末配当金につきましては、通期の業績、今後の事業展開等を総合的に勘案した結果、誠に遺憾ではございますが、無配とさせていただきます。

以 上